

洋上風力発電等の導入拡大に向けた研究開発事業

令和6年度概算要求額 45億円（44億円）

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課

事業の内容

事業目的

再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、エネルギー安全保障上にも寄与できる有望かつ多様で、重要な低炭素の国産エネルギー源である。陸上風力のポテンシャルが限定的な我が国において、風力発電の更なる導入拡大を図るためには洋上への展開が不可欠となっている。

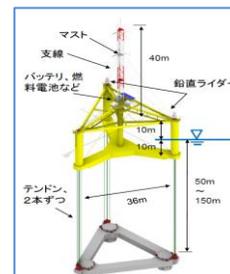
本事業では、我が国の気象・海象条件に適した洋上特有の技術課題や洋上風力発電所に係る技術的・社会的な課題を解決し、我が国の洋上風力発電の導入促進、発電コストの低減、風車関連産業の競争力強化等に貢献することを目的とする。

事業概要

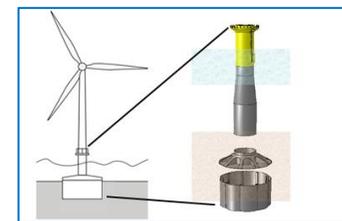
我が国の洋上風力発電の更なる導入拡大、低コストかつ安定的な再生電気の供給、風力関連産業の競争力強化等に資するため、以下の事業を行う。

- ①洋上ウインドファーム開発支援事業（委託）
- ②洋上風力発電低コスト施工技術開発（1/2補助）
- ③次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究（委託）

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



風況観測設備のイメージ



低コスト施工技術のイメージ

成果目標

- ・当該事業の実証・開発等により洋上風力発電に関する技術・システムを令和6年度までに9件確立する。
- ・7件の洋上ウインドファーム開発計画について風況調査・海象調査・設計等を支援することにより、洋上ウインドファームの開発コストに係る基礎データを取りまとめる。
- ・2030年に長期エネルギー需給見通しにおける風力発電導入見通しである1,000万kWを達成する。